

アパート居住者の収納家具に関する意識研究

培花女子専門大 ○ 沈賢淑, 漢陽大 申京珠

目的: アパート居住者が要求する固定収納家具(built-in furniture)を提示し, 住居空間の効率性をたかめ, 住生活の質を向上させるために, 本研究ではアパート居住者の収納管理態度, 収納家具に對する満足度および要求度, 空間別の固定収納家具の選好度の關係を考察した.

方法: 韓國のソウルのアパートに居住する主婦1240名を對象に収納家具の空間別, 特性別(規模, 機能性, 堅固性, 審美性)の満足度, 要求度および選好度, 収納管理態度, 収納に對する關心等で構成した質問紙による調査を行なった. 回收された資料はSASprogramを利用し, 要因分析と定準相關分析を行なった.

結果: 1) 収納管理態度; アパート居住者達は保有の収納物に對する管理意識が高く, 居住空間の確保よりは収納空間の確保をもっと重視した. 固定収納家具の數が少ないほど収納管理態度が望ましくなかった.

2) 収納家具の満足度及び要求度; 移動式収納家具に對しては審美性, 堅固性に對する満足度が高く反面, 規模に對する満足度が低く, 機能性に對する要求度が高かった. 固定収納家具に對しては規模面には満足しているが機能性には不満足で, 機能性に對する要求が高かった.

3) 固定収納家具の選好度; 部寢室, 居室, 主寢室の順に固定収納家具に對する選好度が高かった.